

## 国立大学法人北海道大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 理 由
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p><u>①-5-2 スタンフォード大学等海外から誘致した世界トップレベルの教育研究ユニットとの先端的な国際連携研究・教育により生み出される実績を踏まえ、第3期中期目標期間前半を目途に設置する新たな大学院構想を構築する。</u></p> <p><u>①-5-3 食資源分野において国際的に活躍できる人材を育成するための教育組織再編成に向けた調査を行う。</u></p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p><u>①-1-2 スタンフォード大学等海外から世界トップレベルの教育研究ユニットを誘致し、総長直轄の教員組織として「国際連携研究教育局」を編成することにより、量子医理工学や人獣共通感染症学等の本学の強み・特色を活かした国際連携研究・教育を推進する。</u></p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>大学における機能強化等を推進するため。</p>
<p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	<p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p><u>①-5 多様な人材を確保するため、人事・給与システムの弾力化に取り組む。特に、適切な業績評価体制を整備し、年俸制を導入・促進する。</u></p> <p style="text-align: center;">(略)</p>	

④－1 既存の学内資源配分制度を総点検し、全学的視点から、より重点的、機動的、弾力的に予算を執行できうる学内資源配分制度を構築する。

(略)

④－1 既存の学内資源配分制度を総点検し、総長のリーダーシップの下で、全学的視点から学内資源の再配分をより戦略的・重点的に行う。

(略)